

◎申請法人・団体名： こども食堂ネットワークぐんま

◎企画名： 安心・安全なこども食堂の発展・醸成事業

◎配分額

3年間合計 145万円（1年目 33万円、2年目 56万円、3年目 56万円）

◎課題認識・解決の目標

【課題認識】

- ・団体同士のつながりがなく、課題等を抱えていても解決するための情報等が不足することにより、有効なこどもの居場所としての機能が発揮できない。

【解決の目標】

- ・こども食堂ネットワークぐんまにて、情報交換会、研修会、広報周知活動を実施し、横の繋がりの強化を図り、こども食堂同士の悩みや不安をピアサポートの観点から解決できる環境を整える。
- ・食中毒への対応可能な保険代負担を減少できるように費用負担を実施することで、安心・安全な居場所の継続実施に繋がる。

◎3年間の取組

<1年目>

- ・こども食堂実施団体を対象に研修会を実施
「コロナ禍における子ども食堂の注意点について」
- ・県内のネットワーク未加盟団体への入会の呼びかけ
- ・保険料等助成事業を実施（11団体：11万円）
- ・マップ、のぼり旗の作成

<2年目>

- ・研修会の実施「食中毒予防について」
- ・情報交換会の開催
- ・案内マップの作成 4,000部
- ・子ども食堂フォーラム 動画配信
「子ども食堂 広がれ！支援の輪！」
- ・保険料等助成事業の実施（9団体：148,778円）
- ・県内のネットワーク未加盟団体へ入会呼びかけ
- ・ホームページの更新

<3年目>

- ・研修会の実施「HACCPについて」
- ・情報交換会の開催
- ・案内マップの作成 3,000部
- ・バックパネルの作成
- ・ホームページの更新
- ・保険料等助成事業（17団体：394,201円）



案内マップ



寄付寄贈式

<総括>

- ・十数団体から始まった本ネットワークは現在 50 団体の加盟数となりました。毎年実施している情報交換会や研修会では、県内各地域で活動している運営者同士のつながりを築く場となりました。

- ・本ネットワークには、個人やボランティア団体等、経済基盤が弱い地域の子どものために活動を続けている団体も加入しています。そのような中で子ども食堂の運営については食中毒に関する補償を強化することが求められており、この度共同募金を活用し、助成事業を実施することが出来たため、運営者の活動における経費の圧迫を軽減することができました。
- ・また、ホームページやロゴマーク、案内マップ等、広報資材を充実することができたため、企業や一般の方からの問い合わせが増加しました。なかには、物品や寄付金を定期的に支援いただける協定を結ぶことができ、来年度以降の自主的な運営に向けた基盤作りを拡充することができました。

◎ステークホルダーの変化（利用者、対象者、参加者、連携先など）

- ・会員数 27団体（令和元年度末）→50団体（令和4年度末）
- ・寄付・寄贈数 25件（令和元年度末）→寄付金受付 42件／物品 46件（令和4年度末）

◎できなかったこと、今後の課題

- ・「認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ」の調査結果によると、令和4年度の全国の子ども食堂は、昨年より1,317箇所増え7,331箇所となり、コロナ禍以降（2020年2月以降）においては最も多い増加数になっています。群馬県内でも100箇所を超えており、子どもだけでなく地域住民の「居場所」として急速に広がりを見せています。
- ・一方、本ネットワークへの加盟団体数は、県内の子ども食堂の約半分となっています。**魅力あるネットワークづくりを強化して加入団体を増やし**、引き続き横のつながりの強化を図るとともに、子ども食堂の基盤作りの助けとなり、長く活動を続けてもらえるよう、**また新規立ち上げたい方**の後方支援をしていきます。